

## 使用基準改正により使用禁止期間に注意が必要な動物用医薬品（平成 18 年 5 月 29 日改正）

今回の修正分は下線部で表示しています。

（説明）改正の経過措置として、平成 18 年 10 月 10 日までは改正前の表示のものの流通が認められるため、この期間中に流通する製品には、直接の表示と添付文書の記載が変更されておらず、変更内容を記載した説明書が輪ゴム等を用いて添付されているものもある。この説明書が添付されていないものもある可能性があるので使用禁止期間を確認することが重要である。

動物用医薬品と同一成分を含む人体用又は人獣共用の医薬品については、動物用医薬品としての使用禁止期間は定められていないが、食品衛生法上の規制は同様に行われることになっており、その使用に際しては、同様の休薬期間を設けなければ、食品衛生法違反になる可能性がある。

製品の名称欄に記載されている医薬品には漏れがある可能性がありますので、医薬品名及び投与経路を確認して使用すること。

### 1. 従来の使用禁止期間が延長された動物用医薬品

医薬品	使用対象動物	使用禁止期間 (改正前)	使用禁止期間 (H18 年 5 月 29 日以降)	製品の名称(製造販売会社名)
硫酸ジヒドロストレプトマイシンを有効成分とする注射剤(単剤)	馬	畜体 30 日間	畜体 60 日間	ジヒドロストレプトマイシン注射液「タムラ」(田村製薬) ジヒドロストレプトマイシン注“第一”250(第一製薬) ジヒドロストレプトマイシン注「文永堂」(文永堂製薬) 硫酸ジヒドロストレプトマイシン「明治」(明治製菓) 硫酸ジヒドロストレプトマイシン注射液明治(明治製菓) 硫酸ジヒドロストレプトマイシン注射液 250 明治(明治製菓) 硫酸ジヒドロストレプトマイシン注「ニッサン」(日産合成工業) 硫酸ジヒドロストレプトマイシン注射液「ニッサン」100(日産合成工業)
スルファモノメトキシンを有効成分とする注射剤	牛	畜体 7 日間 乳 72 時間	畜体 28 日間 乳 72 時間	ダイメトン注(フジタ製薬) ダイメトン B 注 20%(フジタ製薬)
	豚	畜体 7 日間	畜体 14 日間	ダイメトン注(フジタ製薬) ダイメトン B 注 20%(フジタ製薬) コンピート注(第一製薬)

## 2. 新たに設定された使用禁止期間が従来の承認の休薬期間より長くなる動物用医薬品

医薬品	使用対象動物	承認の休薬期間 (改正前)	使用禁止期間 (H18年5月29日以降)	製品の名称(製造販売会社名)
カルバリルを有効成分とする外皮散布剤	牛(搾乳牛を除く。)	畜体2日間	畜体7日間	サンマコー粉剤3%(宇都宮化成工業)
	鶏	畜体2日間	畜体7日間 卵1日間	
カルバリルを有効成分とする外皮噴霧剤	牛(搾乳牛を除く。)	畜体2日間	畜体7日間	サンマコー水和剤75%(宇都宮化成工業)
	鶏	畜体2日間	畜体7日間 卵1日間	
ナフシリンナトリウムモノハイドレートを有効成分とする乳房注入剤	牛(泌乳しているものに限る。)	畜体7日間 乳72時間	畜体14日間 乳132時間	カヤテン・L(川崎三鷹製薬) 泌乳期用力ヤテン(川崎三鷹製薬)
ピチオノールを有効成分とする強制経口投与剤	馬	畜体10日間	畜体15日間	シルナックペースト(新新薬品) 動物用ピチン(新新薬品)
メンブトンを有効成分とする強制経口投与剤	豚(生後4月を越えるものを除く。)	畜体3日間	畜体5日間	動物用エンドコール散(帝国臓器製薬)
メンブトンを有効成分とする注射剤	牛	畜体6日間 乳72時間	畜体25日間 乳72時間	動物用エンドコール注(ベーリンガーインゲルハイムシオノギベトメディカ)
硫酸カナマイシン及びベンジルペニシリンプロカインを有効成分とする配合剤たる乳房注入剤	牛(泌乳しているものに限る。)	畜体7日間 乳96時間	畜体50日間 乳96時間	カナペンM明治(明治製薬) カナマスチンディス po(明治製薬) カナマスチンKP「タムラ」(田村製薬) タイニーPK(フジタ製薬)
硫酸ジヒドロストレプトマイシン及びベンジルペニシリンプロカインを有効成分とする配合剤たる乳房注入剤	牛(泌乳しているものに限る。)	畜体7日間 乳96時間	畜体11日間 乳96時間	S.P.乳軟シリンジL「KMK」(川崎三鷹製薬) エアポリA(ダイゾー) エアポリA(日本全薬工業) グルコマイシンS P「タムラ」(田村製薬) ニューサルマイA(日本全薬工業) ニューサルマイS(日本全薬工業) ベルマイシンS P「タムラ」(田村製薬) ホーミングMC(理研畜産化薬)

				マイシリン・エアゾール「タムラ」(田村製薬) マスジェット(川崎三鷹製薬) マストップ・L(川崎三鷹製薬) マストップ・ゲル(川崎三鷹製薬) マストップ・ジェット(川崎三鷹製薬) ミオマイ軟膏(日産合成功業)
--	--	--	--	---

## 休薬期間に注意が必要な動物用医薬品(平成18年5月29日版)

今回の修正分は下線部で表示して

います。

### (説明)

平成18年5月29日付で休薬期間の変更が行われる医薬品の一覧を示す。

休薬期間変更の経過措置として、変更後1年間までは変更前の表示のものの流通が認められるため、この期間中に流通する製品には、直接の表示と添付文書の記載が変更されておらず、変更内容を記載した説明書が輪ゴム等を用いて添付されているものもある。この説明書が添付されていないものもある可能性があるので休薬期間を確認することが重要である。

動物用医薬品と同一成分を含む人体用又は人獣共用の医薬品については、動物用医薬品としての休薬期間は定められていないが、食品衛生法上の規制は同様に行われることになっており、その使用に際しては、同様の休薬期間を設けなければ、食品衛生法違反になる可能性がある。

製品の名称欄に記載されている医薬品には漏れがある可能性がありますので、医薬品名及び投与経路を確認して使用すること。

使用対象動物欄に記載した動物のうち、一部の動物にのみ承認されている製品もあるので、その場合には用法・用量に記載された対象動物のみに使用すること。

### (定義)

「配合剤」とは、2種類以上の有効成分を配合する医薬品をいう。

「飼料添加剤」とは、飼料に添加、混和又は浸潤して投与する医薬品をいう。

「飲水添加剤」とは、飲水に添加又は混和して投与する医薬品をいう。

「経口投与剤」とは、経口投与する医薬品をいう。

「薬浴剤」とは、容器内において淡水又は海水に添加又は混和して浸漬する方法により投与する医薬品をいう。

「注射剤」とは、皮下、筋肉内、静脈内又は腹腔内に注入する方法により投与する医薬品をいう。

「外皮塗布剤」とは、外皮に塗布する方法により投与する医薬品をいう。

「外皮散布剤」とは、外皮に散布する方法により投与する医薬品をいう。

「外皮噴霧剤」とは、外皮に噴霧する方法により投与する医薬品をいう。

「乳房注入剤」とは、乳房内に注入する方法により投与する医薬品をいう。

「搾乳牛」とは、食用に供するために出荷する乳を泌乳している牛をいう。

「産卵鶏」とは、食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう。

## 1. 従来の休薬期間が延長された動物用医薬品(単剤)

動物用医薬品 (注意:休薬期間に 注意を有する成分 のみを記載してい る。)	使用対象 動物*	休薬期間 (平成18 年5月28 日まで)	休薬期間 (平成18年 5月29日 以降)	製品の名称 (製造販売業者名)
アザペロンを有効 成分とする注射剤	豚	畜体2日	畜体21日	動物用ストレスニル(三共)
アレスリンを有効 成分とする外皮塗 布剤	牛	なし	畜体3日	キノピレン(現代製薬)
	馬	なし	畜体3日	
	豚	なし	畜体3日	

	緬・山羊	なし	畜体 3 日	
ジクロルイソシアヌル酸ナトリウムを有効成分とする外皮散布剤	牛	なし	畜体 2 日	スミクロール(有恒薬品工業) クレンテ(日産化学工業)
	馬	なし	畜体 2 日	
	豚	なし	畜体 5 日	
	緬・山羊	なし	畜体 2 日	
	鶏	なし	畜体 1 日	
トロクロセンカリウム(ジクロルイソシアヌル酸カリウム)を有効成分とする外皮散布剤	牛	なし	畜体 2 日	パナロック(ロック化学製品) 動物用ロックス散(ロック化学製品)
	馬	なし	畜体 2 日	
	豚	なし	畜体 5 日	
	緬・山羊	なし	畜体 2 日	
	鶏	なし	畜体 1 日	
塩化ジデシルジメチルアンモニウムを有効成分とする外皮噴霧剤	牛	なし	畜体 5 日	クリンジャーム(大薬) アストップ(科学飼料研究所) アストップ 200(科学飼料研究所) マイクリア-100(科学飼料研究所) マイクリア-200(科学飼料研究所) マイクリア-300(科学飼料研究所) マイクリア-300(明治製菓) ロンテクト(科学飼料研究所) クリンエール(川崎三鷹製薬) クリンエール・200(川崎三鷹製薬) モルホナイト 10(サンケミファ) モルホナイト 20(サンケミファ) カチオデット DDC-AP(田村製薬) <u>クリアキルドライ(田村製薬)</u>
	馬	なし	畜体 5 日	
	豚	なし	畜体 5 日	
	緬・山羊	なし	畜体 5 日	
	鶏	なし	畜体 3 日	
塩化ベンザルコニウムを有効成分とする飲水添加剤	家畜	なし	畜体 14 日 乳 48 時間	動物用ベタセプト(日本全薬工業)
	鶏	なし	畜体 14 日	
	家畜	なし	畜体 5 日	
	鶏	なし	畜体 3 日	
オイゲノールを有効成分とする薬浴剤	魚類	なし	7 日	FA100(田村製薬)
	甲殻類	なし	10 日	
キシラジン塩酸塩を有効成分とする注射剤	馬	なし	畜体 5 日	注射用セラクタール(バイエルメディカル)
ジクロルボスを有効成分とする飼料添加剤	馬	なし (食用馬を除く。)**	畜体 60 日	エクイガード(共立製薬)

トロメタミンジノ プロストを有効成 分とする注射剤	牛	畜体 1 日 乳 1 回廃 棄	畜体 1 日 乳 1 回廃 棄	動物用プロナルゴン注射液(ファイザー製 薬)
	馬	なし	畜体 1 日	
	豚	畜体 1 日	畜体 1 日	
ジミナゼンジアセ チュレートを有効 成分とする注射剤	牛(搾乳牛を 除く。)	畜体 30 日	畜体 60 日	ガナゼック(ノバルティス アニマルヘル ス)
チオプロニンを有 効成分とする注射 剤	牛	畜体 15 日 乳 36 時間	畜体 15 日 乳 36 時間	動物用チオラ注射液(協和発酵工業)
	馬	なし (食用馬を 除く。)**	畜体 60 日	
デキサメタゾンを 有効成分とする注 射剤	牛	畜体 4 日	畜体 4 日 乳 12 時間	デキサメサゾン注・KMK(川崎三鷹製薬) デキサメサゾン注射液「KMK」(川崎三鷹 製薬) デキサメサゾン懸濁注「タムラ」(田村製薬) デキサメサゾン注「文永堂」(文永堂製薬) ユーパレス(フジタ製薬) デキサゾン注(理研畜産化薬)
	馬	畜体 7 日	畜体 7 日	
リン酸デキサメタ ゾンナトリウムを 有効成分とする注 射剤	牛	畜体 2 日 乳 12 時間	畜体 4 日 乳 12 時間	水溶性デキサ注「KMK」(川崎三鷹製薬) コルソン P 注射液(日本全薬工業)
	馬	畜体 7 日	畜体 7 日	
デキサメタゾンメ タスルフォベンゾ エートナトリウム を有効成分とする 注射剤	牛	畜体 2 日 乳 12 時間	畜体 4 日 乳 12 時間	水性デキサメサゾン注 A(日本全薬工業)
	馬	畜体 7 日	畜体 7 日	
トリクロルホンを 有効成分とする皮 膚噴霧剤	牛(搾乳牛を 除く。)	畜体 2 日	畜体 14 日	ネグホン液 - 20%(宇都宮化成工業) ネグホン(バイエルメディカル)
	豚	畜体 2 日	畜体 2 日	
	鶏	畜体 2 日	畜体 20 日	
トリクロルホンを 有効成分とする皮 膚散布剤	牛	畜体 2 日	畜体 14 日 乳 36 時間	ネグホン散 - 3%(宇都宮化成工業) フライホン(ヤシマ産業)
	豚	畜体 2 日	畜体 2 日	
	鶏	畜体 2 日	畜体 20 日	
クエン酸ピペラジ ンを有効成分とす る経口投与剤	馬	畜体 7 日	畜体 11 日	アンテパラン(川崎三鷹製薬) ヤマピラジン(山一薬品)
	豚	畜体 7 日	畜体 7 日	
	鶏(産卵鶏を 除く。)	畜体 5 日	畜体 5 日	
硫酸ピペラジンを 有効成分とする経 口投与剤	馬	畜体 7 日	畜体 11 日	硫酸ピペラジン「三共」(三共エール) ピラレート S(日産合成工業) ピペラジン B(文永堂製薬)
	豚	畜体 7 日	畜体 7 日	
	緬・山羊	不明	畜体 11 日	
	鶏(産卵鶏を 除く。)	畜体 5 日	畜体 5 日	
二硫化炭素ピペラ	馬	畜体 7 日	畜体 11 日	アスカリケン・エス(川崎三鷹製薬)

ジンを有効成分とする経口投与剤				アンテパラン・C (川崎三鷹製薬) ホスピラン (タイガー薬品工業) ピペラジンバボ (山一薬品)
アジピン酸ピペラジンを有効成分とする経口投与剤	馬	畜体 7 日	畜体 11 日	ピペラジンミタカ末 (川崎三鷹製薬)
ピランテルを有効成分とする経口投与剤	馬	なし (食用馬を除く。)**	畜体 60 日	ソルビーシロップ (ファイザー製薬)
フェニトロチオンを有効成分とする皮膚噴霧剤	牛 (搾乳牛を除く。)	畜体 2 日	畜体 60 日	動物用シントースミチオン乳剤 10% (シントーファイン)
	豚	畜体 2 日	畜体 20 日	動物用プレミアムスミチオン乳剤 (シントーファイン)
	鶏	畜体 2 日	畜体 14 日	プレミアムスミチオン 10%乳剤 (神東塗料又は住友化学) 動物用金鳥スミチオン乳剤 (神東塗料又は住友化学) ヤシマスミチオン 10%乳剤 (ヤシマ産業) スミチオン 10% (養日化学研究所)
フェニトロチオンを有効成分とする皮膚散布剤	牛	畜体 2 日	畜体 60 日	ヤシマスミチオン水溶剤 (ヤシマ産業)
	豚	畜体 2 日	畜体 20 日	ヤシマスミチオン粉剤 1.5% (ヤシマ産業)
	鶏	畜体 2 日	畜体 14 日	ヤシマスミチオン粉剤 2% (ヤシマ産業) ヤシマスミチオン粉剤 3% (ヤシマ産業) スミチオン 1.5% (養日化学研究所)
プレドニゾロンを有効成分とする注射剤	牛	畜体 4 日	畜体 51 日 乳 72 時間	プレドニゾロン注射液「KMK」(川崎三鷹製薬)
	馬	畜体 7 日	畜体 60 日	プレドニゾロン注「協同」(協同製薬)
	豚	畜体 4 日	畜体 60 日	プレドニゾロン注射液「タムラ」(田村製薬) プレドニゾロン注射液NZ (日本全薬工業) プレドニゾロン注「文永堂」(文永堂製薬) プレドニゾロン (フジ) 注 (富士ケミカル工業) プレドニゾロン注PSK (ファイザー製薬) プレドニゾロン注「フジタ」(フジタ製薬) プレドリン注 (理研畜産化薬)
プロポクスルを有効成分とする外皮噴霧剤	牛 (搾乳牛を除く。)	畜体 2 日	畜体 4 日	ボルホ・50% (宇都宮化成工業又はバイエルメディカル)
	豚	畜体 2 日	畜体 4 日	
	鶏	畜体 2 日	畜体 34 日	
プロポクスルを有効成分とする外皮散布剤	牛	畜体 2 日	畜体 4 日	ボルホ散 - 1% (宇都宮化成工業又はバイエルメディカル)
	豚	畜体 2 日	畜体 4 日	
	鶏	畜体 2 日	畜体 34 日	
塩酸エフェドリンを有効成分とする注射剤	牛	なし	畜体 10 日 乳 36 時間	塩酸エフェドリン注「KMK」(川崎三鷹製薬)
	馬	なし	畜体 10 日	
	豚	なし	畜体 10 日	
	縊・山羊	なし	畜体 10 日	
塩化ベタネコール	牛	畜体 3 日	畜体 10 日	ベタネコール注 NZ (日本全薬工業)

を有効成分とする 注射剤	馬	畜体 3 日	畜体 10 日	ベタネコール注「フジタ」(フジタ製薬)
	豚	畜体 3 日	畜体 10 日	
10 - オキソカンファ ーを有効成分と する注射剤	牛	畜体 4 日 乳 24 時間	畜体 20 日 乳 72 時間	ベルカンファー注射液ヤマイチ No.1(山一 薬品)
	馬	畜体 4 日	畜体 20 日	ベルカンファー注射液ヤマイチ No.2(山一 薬品) オキソカンファー注射液「理研」(理研畜産 化薬)
スルピリンを有効 成分とする注射剤 (配合剤を除く。)	牛	なし	畜体 10 日 乳 24 時間	スルピリン注 40% (川崎三鷹製薬) スルピリン注 V40% (川崎三鷹製薬)
	馬	なし	畜体 10 日	動物用スルピリン注 40% 「KMK」(川崎三 鷹製薬)
	豚	なし	畜体 10 日	動物用 40%スルピリン注 (日本全薬工業)
	縊・山羊	なし	畜体 10 日	
ペントバルビター ルナトリウムを有 効成分とする注射 剤	牛	畜体 5 日 乳 24 時間	畜体 10 日 乳 24 時間	ソムノペンチル (共立製薬)
	馬	畜体 5 日	畜体 10 日	
	豚	畜体 5 日	畜体 10 日	
	縊・山羊	畜体 5 日	畜体 10 日	
ボログルコン酸カ ルシウムを有効成 分とする注射剤(塩 酸ピロカルピンを 含むものを除く。)	牛	なし	畜体 3 日	ボログルコン酸カルシウム注射液 25% 「イ セイ」(イセイ)
	馬	なし	畜体 3 日	ニューグロン・S (川崎三鷹製薬)
	豚	なし	畜体 3 日	ニューボロカールA (日本全薬工業) ボロカール (日本全薬工業)(配合剤) カルマデックス注 (フジタ製薬)(配合剤) ボロカノン (理研畜産化薬)(配合剤)
<u>ポリアルキルポリ アミノエチルグリ シン塩酸塩を含有 する畜体散布剤(ア ルキルとしてノニ ル・オクチル等含 む)</u>	豚	畜体 2 日	畜体 7 日	動物用ネオラック (有恒薬品工業)
ポロキサレンを有 効成分とする経口 投与剤	牛	なし	畜体 3 日	ルミノン液 (日本全薬工業)
	縊・山羊	なし	畜体 3 日	
硫酸ベルベリンを 有効成分とする注 射剤	牛	畜体 3 日	畜体 7 日	タカベリン (川崎三鷹製薬) ベリノール注A (日本全薬工業) ベルノーゲン注 (山一薬品産業) ベルパリン注 (理研畜産化薬)
	馬	畜体 3 日	畜体 7 日	
	豚	畜体 3 日	畜体 7 日	
	縊・山羊	畜体 3 日	畜体 7 日	

\*各製品の承認された使用対象動物に限る。

\*\*使用上の注意に「食用に供することを目的として飼育している馬に使用しないこと。」という内容の記載がある。

## 2 . 従来の休薬期間が延長された動物用医薬品(配合剤)

動物用医薬品 (注意:休薬期間に 注意を有する成分)	使用対象 動物*	休薬期間 (平成 18 年 5 月 28	休薬期間 (平成 18 年 5 月 29 日	製品の名称 (製造販売業者名)
----------------------------------	-------------	----------------------------	------------------------------	--------------------

のみを記載している。)		日まで)	以降)	
ペルメトリン、ピペロニルブトキシド及び247ジブチルサクシネートを有効成分とする外皮噴霧剤	牛	なし	なし	動物用金鳥ETB乳剤(大日本除蟲菊) 動物用金鳥ETB乳剤A(大日本除蟲菊) 動物用金鳥ETB乳剤B(大日本除蟲菊) 動物用金鳥ETB乳剤C(大日本除蟲菊) ペルメトリン乳剤「フジタ」(フジタ製薬)
	豚	なし	畜体2日	
	鶏	なし	なし	
アクリノールを有効成分とする経口投与剤 (クレオソートを含有するものを除く。)	牛	なし	畜体7日	パンベル-T(タイガー薬品工業) 家畜下痢止め散タイガー(タイガー薬品工業) ビオエンチ(東亜薬品工業) ギンベル(フジタ製薬) ポンテ散(フジタ製薬) ストリゲン-A(山一薬品産業) ビスキノン末(理研畜産化薬)
	馬	なし	畜体7日	
	豚	なし	畜体7日	
	縊・山羊	なし	畜体7日	
アミノピリン、アンチピリン、マレイン酸クロルフェニラミン又は塩酸パパベリンのうち1成分以上を有効成分とする注射剤 (塩酸メチルエフェドリン又は塩酸ジフェンヒドラミンを含有するものを除く。)	牛	畜体4日 乳24時間	畜体10日 乳24時間	パパリンディ注(フジタ製薬) Kチオニン注C(協同製薬) Kチオニン注C(理研畜産化薬) ヒスタミンB6注「文永堂」(文永堂製薬)
	馬	畜体4日	畜体10日	
	豚	畜体4日	畜体10日	
塩酸メチルエフェドリン、塩酸エフェドリン又は塩酸ジフェンヒドラミンのうち1成分以上を有効成分とする注射剤	牛	畜体4日 乳24時間	畜体10日 乳36時間	スパドリン注(理研畜産化薬) ダンプロン(理研畜産化薬) フクスロン注(川崎三鷹製薬) ネオアスP(東亜薬品工業) ネオアス注射液(東亜薬品工業) ラドン(日本全薬工業)
	馬	畜体4日	畜体10日	
	豚	畜体4日	畜体10日	
	縊・山羊	畜体4日	畜体10日	
塩酸ピロカルピンを有効成分とする注射剤	牛	なし	畜体10日	ニューグロン(川崎三鷹製薬) シングロン注(文永堂製薬) カルシドン(フジタ製薬)
クレオソートを有効成分とする経口投与剤	牛	畜体3日 乳3日	畜体7日 乳72時間	シリコナイズ(文永堂製薬) パーロンK(北都製薬)
	馬	畜体3日	畜体7日	
	縊・山羊	畜体3日	畜体7日	
クレオソートを有効成分とする皮膚塗布剤	鶏	なし	畜体3日	外用ケイパンチ(養日化学研究所)
スルピリン及びサリチル酸ナトリウムを有効成分とする注射剤(配合剤を	牛	畜体2日 乳24時間	畜体10日 乳24時間	ピラピリン(日本全薬工業)
	馬	畜体2日	畜体10日	
	豚	畜体2日	畜体10日	

除く。)	緬・山羊	畜体 2 日	畜体 10 日	
センソを有効成分とする経口投与剤	馬	なし	畜体 7 日	ネドス - S (薬研開発)
フェナセチンを有効成分とする経口投与剤	馬	なし (食用馬を除く。)**	畜体 60 日	ナイラドール (フジタ製薬)
ホミカエキスを有効成分とする経口投与剤	牛	なし	畜体 7 日	ボビノン (日本全薬工業)
	緬・山羊	なし	畜体 7 日	
サリチル酸フェニルを有効成分とする経口投与剤	牛	なし	畜体 3 日 乳 24 時間	ゲリトミン散 (川崎三鷹製薬) 新モアラーゼ散 (日産合成工業)
	馬	なし	畜体 3 日	
	豚	なし	畜体 3 日	
	緬・山羊	なし	畜体 3 日	
ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル及びポリアルキルポリアミノエチルグリシンを有効成分とする外皮噴霧剤 <u>(アルキルとしてノニル・オクチル等含む)</u>	豚	畜体 2 日	畜体 7 日	ペルパン (ニッチク薬品工業) ワンショット (ニッチク薬品工業) パステンコンツ (養日化学研究所) <u>パステン (養日化学研究所)</u> <u>エイトール (ヤシマ産業)</u> <u>キーエリア A (フヂミ製薬所)</u>

\*各製品の承認された使用対象動物に限る。

\*\*使用上の注意に「食用に供することを目的として飼育している馬に使用しないこと。」という内容の記載がある。

### 3. 従来の休薬期間が延長された動物用医薬品(単剤)

(説明)

以下の医薬品については、噴霧の用量を、「100~1,000 倍希釈に希釈し、噴霧または塗布する」から「500~1,000 倍に希釈し、噴霧または塗布する」とし、使用できる濃度の上限を低くしたうえで、休薬期間の延長がなされることとなった。

動物用医薬品	使用対象動物	休薬期間 (平成 18 年 5 月 28 日まで)	休 薬 期 間 (平成 18 年 5 月 29 日以降)	製品の名称 (製造販売業者名)
2-セカンダリープチルフェニル - N - メチルカーバメート(フェノブカルブ)を有効成分とする皮膚噴霧剤	牛(搾乳牛を除く。)	なし	畜体 7 日	バリゾン乳剤 (ヤシマ産業)
	馬	なし	畜体 7 日	
	豚	なし	畜体 7 日	
	緬・山羊(搾乳動物を除く。)	なし	畜体 7 日	
	鶏	なし	畜体 15 日	
2-セカンダリープチルフェニル - N	牛(搾乳牛を除く。)	なし	畜体 7 日	バリゾン散剤 (ヤシマ産業)

- メチルカーバメート(フェノブカルブ)を有効成分とする皮膚散布剤	馬	なし	畜体 7 日	
	豚	なし	畜体 7 日	
	縄・山羊(搾乳動物を除く。)	なし	畜体 7 日	
	鶏	なし	畜体 15 日	

#### 4. 従来の休薬期間より長い使用禁止期間が設定される予定の動物用医薬品(単剤)

(説明) 使用基準の改正案が動物用医薬品等部会で了承されたため、今後パブリックコメント等の手続きを経て使用基準が改正される予定である。

動物用医薬品	使用対象 動物	休薬期間 ( 改 正 前 )	使 用 禁 止 期 間 (H18 年 5 月 29 日以 降 改 正 を 予 定 )	製品の名称 ( 製造販売業者名 )
塩酸オキシテラサイクリンを有効成分とする乳房注入剤	牛(泌乳しているものに限る。)	畜体 14 日 乳 96 時間	畜体 14 日 乳 144 時間	オキシテラサイクリン乳房炎用液 NZ(日本全薬工業) テラマイシン乳房炎用液(ファイザー製薬) マストレアン - L(ファイザー製薬)

休薬期間・使用禁止期間の最新の情報は、農林水産省動物医薬品検査所のホームページを参照してください。

- ・農林水産省ホームページ (<http://www.maff.go.jp/>)
- ・独立行政法人肥飼料検査所ホームページ (<http://www.ffis.go.jp/>)
- ・農林水産省動物医薬品検査所ホームページ (<http://www.nval.go.jp>)
- ・厚生労働省ホームページ  
(<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/zanryu2/index.html>)